

ツワブキ

【 *Farfugium japonicum* 】

科名 キク科

属名 ツワブキ属

薬効・用途

葉を腫れ物や湿疹、切り傷などの上にはる。また解毒剤として用いる。葉柄をフキと同様に食用にするが、ピロリジンアルカロイドは肝毒性を示すためあく抜きは必須。



・花期：10～12月

備考

多年草。本州（福島県、石川県以西）～沖縄、朝鮮半島・台湾・中国大陸東部に分布する。和名の由来は、葉につやがありフキによく似ることによるという説と、「厚葉フキ」から「あ」が省略されて「つわぶき」になったという説がある。雌花と両性花。